

令和3年11月25日「地域福祉推進会議」議事要録		
開催日時	令和3年11月25日（木）午後2時00分から午後3時30分まで	
開催場所	奈良市役所北棟2階203会議室	
議題	地域福祉推進会議	
出席者	委員	山下委員、今西委員、作間委員、植畑委員、安藤委員、森山委員、安井委員、木村委員、田中委員、松村委員、 【委員13名中10名出席】
	事務局	【福祉部】福祉部次長、福祉政策課長、課長補佐、係長、係員 【奈良市社会福祉協議会】7名
開催形態	公開（傍聴3名）	
担当課	福祉部福祉政策課	
議事の内容		
1 開会 2 議題 （1）第4次地域福祉計画・第3次地域福祉活動計画（案）について （2）その他		
（第一章について） ・社会情勢の中にインバウンドとは違う「生活する外国人住民」のことも一言入れると良いのではないか。		
・あらゆる問題を専門的ではなくても、誰でも相談できる場所をどんな風につけていくのが今の問題だと思う。声をあげる場所を身近につけてほしい。		
・地域自立支援協議会で社会参加、交流というのはとても大事なキーワードなので、主に障害のある人がどこに住むかということも大事だが、広くマイノリティの方も交流できる、多文化共生サロンのような場が大切だと思う。		
・実習生、留学生など地域には外国人の方がたくさんおられるので、そういった方々にも地域の一員として仲間に入ってくださるということを発信してもらえると非常にありがたい。		
・見守りや居場所づくりは地域で出来つつあるが、家族や隣近所に知られたくないなど、地域が困りごとのある方を把握することが難しい。市には困りごとのある方を見つけやすい体制作りのサポートや見つけた後の相談先がほしい。		
・全体的に見やすく、分かりやすくまとめられている印象を受けたが、取り組みを並べていく中で表記の揺れが気になった。また高齢者の方は絵と字が重なっているとちょっと見にくい場合もあるので、高齢者目線でもう少し色を薄くしていただきたい。		

・色のコントラストがもう少し柔らかくなったら連動して見えると思うので、グラデーションを意識してみてもどうか。

・高齢者の方の見守りをどこかの団体や地域の誰かが単独で担う問題ではなくて、もっと広く浅く、たくさんの市民お一人おひとりに少しだけ見守りを担っていただいて、気付いたことを社協や専門の方に繋いでいただき支援につなげる形はどうだろうか。

・相談する側の人でも自分がどんなことで困っているかを表現することが難しい場合もあり、いろんな関係性や雑談の中で自分はこういったことで困っているかの表現をされるため、話ができる関係性を作ることが一番大事。そういった内容のコラムが欲しい。

・地区社協がどのような活動をしているのか、また地域の民生委員は誰なのかなど見えてこない。まだまだ地域の連携が必要だと感じる。

・民生委員の認知度の低さは感じており様々な広報活動をしているが、今、必要ではなかったらスルーされてしまうことが多い。周知していく方法を担当の地区や協議会全体でもしっかりと考えていく必要があると感じている。

・近所同士の繋がりがあがり、他の家のことも大体は分かる地域に住んでいるため中々理解が追い付かないが、そのような地域に住んでいるからこそその目線で計画を考えていきたい。

・家族しか立ち入れない話も多くあり、支援する側が話しにくい状況がある。こんな時どうしたらよいのか、相談支援をする方への事例集などを出し、支援する側も話しやすい環境づくりが必要ではないか。

・行政は相談の間口を広げ、制度の狭間に対応している団体が特性を活かした相談に乗る。上記事例集も行政というより、特性のある団体だからできることではないか。

・相談支援者同士の連携具合に地域差を感じているので、その差を埋めていきたい。

・言葉の成り立ちは歴史的なものであるから全てをニュートラルな言葉に言い換えるのは難しいと思うが、できるだけ平たい表現になるように表記の修正をしていきたい。

・挿絵について赤と緑の点々が少し見にくい方もおられるので、もし可能であるならば修正した方が良いのではないか。